

日頃から、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。12月9日（水）に低学年分科会で研究授業がありましたので、ご報告いたします。

1年生 「はしのうえのおおかみ」 B 親切、思いやり



今回の学習を通して考え、深めたいこと

自分自身が親切にしたときの気持ちを見つめ、身近にいる人の身になって、親切にすることの大切さ

工夫したことと成果 ～指導と評価について～

- ①「おおかみ」が「くま」の親切な行為を真似た場面に絞り、「おおかみ」の心の変容の理由を正確に捉えさせるように問うことで、親切の価値理解につなげることができた。
- ②「おおかみ」の心の変容の理由を板書し、考えが近いものにネームプレートを黒板に貼らせる。誰がどんな考えをしているのかを共有した上で、自分の考えとは違う「おおかみ」の心の変容の理由があることを知り、友達の考えのよいところを見付けることができた。

今後の課題等について

- ①「誰にどんな親切をしたか」と事前アンケートを行い、授業後半に「親切にしたときにどんな気持ちになったか」と聞いた。もう少し長く発表時間をとり、自分との関わりの中で親切のよさを考えさせる必要があった。
- ②ワークシートになかなか自分の考えを書けない場合の支援の方法を考える必要があった。

2年生 「ぐみの木と小鳥」 B 親切、思いやり



今回の学習を通して考え、深めたいこと

相手の立場や気持ちを押し量り、思いやることの素晴らしさ

工夫したことと成果 ～指導と評価について～

- ①紙芝居を用いた教材提示によって、話の内容を一人一人が理解することができた。また、板書の挿絵に紙芝居をそのまま用いたことにより、気持ちに迫ることができた。
- ②自分の考えをワークシートに書く時間、席を移動して互いに見合う時間、全体で発表する時間と様々な方法で意見の共有を行ったことにより、自分の考えを多面的、多角的に深め合うことができた。

今後の課題等について

- ①発問の数やワークシートに書く活動は、児童の実態を考慮して考える必要がある。また、主発問の設定は、葛藤場面以外でも検討する必要がある。
- ②展開後段で「親切にする時に大切なこと」と聞いた。ねらいと発問の整合性を考える必要がある。